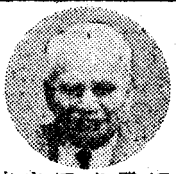
バリケード・授業再開・アンケート

十日一日からの新学期を迎えてバリ・スト全学封鎖という非常事態が続く本学は、依然混沌状態にある。本紙ではこのスト状況と授業再開について学内各関係者はどのように考えているかをアンケートしてみた。今回はその1

全学生へ正常化の呼びかけ

理事長　水野東太郎



大学側はバリケードを認めてる訳ではないのだが、解く順序として、まず教職員が熱意を持つことである。つまり、学内体制を整え、それから全学生にこの異常事態の正常化を呼びかけたい。その一般学生の反応をみてから、バリケードを解除するか、あるいは六項目・改革問題を再度話し合うか決定したい。機動隊導入はあらゆる手段を講じた末の措置としたい。そして現段階ではまだその時期ではないと考える。

（弁護士・大正7法卒）

本学への世論非難は激しい

総長　春日井薫

少数者のために多数の人たちが迷惑を受けることは、民主的ではない。本学に対する世間の非難は激しい。私のところへもそういう声が届いている。一番理想的な方法としては、バリケードを築いた学生が自主的に撤去することであるが、その動きがあるようなことも聞いている。詳しいことはわからないが、後は一般学生が立ち上ることを期待したい。最後の止むを得ない方法としては機動隊の導入も考えられる。われわれに権限があるわけではないのでその件についてはわからない。

（商学部教授）

扇動学生は学園から追放

ラグビー部監督　渡辺政人

大学は教育・研究の場であって学生は四年間の短い期間なのだから勉強することが第一義で、政治運動をするのは全くまちがっている。私としては、このバリケード封鎖をいまいましく思っている。自主解決が一番望ましいが、現状では不可能である。従って機動隊の導入による解除もやむを得ない。一部の扇動学生は法の規制のもと学園から追放し、大学本来の姿にもどすべきである。

（元法人理事長・大正7商卒）

全学の教職員一本化が必要

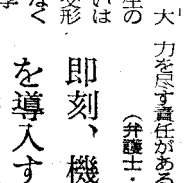
名誉教授　小出　康二

なるだけ早く収拾できればと希望しているのだが、むずかしい問題だ。何らかの形で全学的な集会を持つことが前提条件だと思う。他大学生の泊り込みは困ったことだ。このままのバリケード事態が続けば研究・教育本来の姿が疎外されて望ましくない。何とかこれを打開・収拾して授業再開に持ち込むことが先決問題だ。その上で改革を推し進めなくてはいけない。ともあれ、全学の教職員が一本にまとまることが重要なことである。

（前学長）

学生代表と大学が会見せよ

評議員会議長　三上英夫



現在、当面している大学問題は紛争中の当該大学に限ったものでなく、また学生の中にもいろいろセクトがあり、統一された意見がないということ、現在の日本の政治姿勢に国民全体（学生を含む）が信頼を寄せていないことなどから、これを論ずることは難かしい。ただ、大学の学生の意向に誠意に取り組む努力をしなければいけない。大学と学生の話し合いは大衆団交形式ではなく全学の学生から相当数の代表を選出し、その上で当局側と会見するというふうにしたい。しかし、その選出ルールを決めるのがやっかいな問題である。機動隊導入は避けなくてはならないが、学内外で一般社会的にいうところの暴力的危機が発生した場合、やむを得ないと思う。

（大正3法卒）

大学の使命と責任果たせ

校友会長　名川保男

多数の子弟をあづかり、教育をほどこす責務のある学校当局は、一部学生の反抗に気をとられることなく、大学の使命と責任を考えて、勇気を出して教育の目的に死力を尽す責任がある。

（弁護士・大正8法卒）

即刻、機動隊を導入すべき

評議員　長野国助

異常事態は言語道断だ。けしからん。犯罪的でさえある。これについての弁明の余地は全くない。むろん、大学側は即刻機動隊を導入すべきだ。これは当然のことだ。学長とか教授会がもたもたしているのは卑怯だ。例外もあるが、学者は意句地がない。学生との話し合いは過去の歴史からみても、成功した例しはない。一握りの悪い学生のために、善良な一般学生が授業を受けられないでいるのだから、大学側は勇気をもって、機動隊を導入すべきである。

（元法人理事長・明治45法卒）

話し合いの過程で収拾を

教職組委員長　大木芳朗

教職組の執行部が間もなく、バリケードについての見解を発表するし、組織の一人と個人の意見とが食い違ってはおかしいと思うため、抽象的であることを許してもらいたい。六月二十一日以降、全学がバリケードで封鎖されて以来、教職員と学生との話し合いが不足していたように思う。大学執行部の方で、いろいろ制約もあろうと思うが、できるだけ素早く改革案を提出してもらい、それを元にして討論を開始させ、その過程の中で収拾をはかっていきたい。現時点での機動隊導入は考えていない。それ以前の手続が必要だと考える。

（政経学部教授）

他大学生は早刻出てもらえ

ラグビー部監督　北島忠治

学生に要望したいのはバリケードを築いたりしないで、もっとおおらかに大学側と折衝すべきだと思う。どこの大学でもそうだが、たたちに封鎖するというのは性急だ。また、本学に泊っている他大学は早刻出てもらい、本学だけで解決すべきだ。大部分の学生は不満はあっても、授業は受けたいと思ってるはずだ。話し合いは譲るところは双方互に譲り合うことが肝要だ。学生の方も絶対主張を曲げないというのは民主的ではない。乱暴を尽す奴は学生ではないのだから、排除すべきだ。

（法人評議員・昭32大学院修卒）